

第三百三十二 集積場ニ設置スヘキモノ左ノ如シ

一 集積倉庫 給養品ヲ貯蓄スル所トス

此倉庫ハ陸軍省經理局ノ管理ニ屬ス

二 野戰兵器本廠 要スル時之ヲ設ケ陸軍省軍務局ノ管理ニ屬ス

三 貨物廠 軍用貨物トシテ輸送スル追送品衛生豫備材料特志者ヨリノ寄贈品及獸醫材料ヲ貯ヘ其他戰地ヨリ還送スル所ノ諸物品ヲ集積スル所トス

此貨物廠ハ陸軍省ヨリ別ニ官吏ヲ置キ管理セシム

第三百三十三 集積倉庫及貨物廠等ノ大小ハ物件ヲ送致スヘキ師團ノ數ニ適應スヘク又輸送或ハ物品蒐集ノ便利ニ依リ

0596

若干ノ支庫ヲ設クルトアリ

第三百三十四 集積場ヨリ發スル物件ノ輸送ハ其地ニ在ル運輸通信官衙ニ請求シ又倉庫及貨物廠等ニ於テ役夫ヲ要スルトキハ兵站司令部ニ請求スヘシ

第三百三十五 集積倉庫及貨物廠ニ屬スル官吏ハ凡テ軍紀上ニ關シテハ其地ニアル兵站司令官ノ命令及指示ヲ遵奉スルモノトス

第二十九章 兵站主地

第三百三十六 野戰軍ノ所在地ニ通スル鐵道線路又ハ水路若クハ街道ノ要點ニシテ作戰軍ニ近接シアル所ニ兵站主地ヲ設ク此兵站主地ノ位置ハ作戰ノ進退ニ依リ變換スルモノニ

0597

シテ若シ其位置ヲ變シタルトキハ從來ノ位置ハ主地ノ名ヲ失フ

第三百三十七 兵站主地ハ野戰軍ニ到着シ或ハ之ヨリ還送スヘキ人馬及諸物品ノ分配並送達ヲ掌ル所トス故ニ此主地ヲ撰フニハ左ノ事項ヲ必要トス

- 一 道路ノ交通(連絡)自在ナルヲ
- 二 倉庫ニ充ツヘキ家屋或ハ之ヲ建築スルニ適當ナル場所アルヲ
- 三 停車場或ハ揚陸場ハ廣濶ニシテ又尙ホ擴メ得ヘキヲ
- 四 貨物ノ搭載卸下ノ材料ニ富ムヲ
- 五 人畜ノ飲水及汽罐車若クハ船舶ノ用水ニ富ムヲ

0598

六 停車場ニ汽罐車廠及旋車盤ノ備アルト

七 宿舎用ノ家屋及廐ニ富ミ且畜類飼養ニ充ツヘキ場所

スルト

八 野戰兵器廠ヲ設置スルニ適當ナル場所アルト

第三百三十八 兵站主地ハ一作戰軍ノ爲メニ一個所ナルヲ通常トス然レモ小ナル市町村ニシテ停車場若クハ碇泊場ノ狹隘ナルトキ又ハ交通便ナラサルトキハ兵站主地ノ業務ヲ數個ノ停車(碇泊)場等ニ分任セシムルヲ要スルトアルヘシ

第三百三十九 兵站監部ハ兵站主地ニ其目的ヲ達スル爲メニ要スル諸設備ヲ整頓スルモノトス但兵站主地ニハ別ニ兵站司令部ヲ置カス其事務(第三十一章)ハ兵站監部ニ於テ之ヲ擔

任ス

第四百十 患者輸送部ノ駐在スル兵站主地ニ於テハ兵站病院ノ外ニ患者療養所及其宿舍ヲ設置シ此療養所等ノ事務ハ患者輸送部ヲシテ擔任セシムヘシ

第四百十一 糧食縦列及兵站糧食縦列ヲ以テ送ルヘキ物品ノ倉庫及納屋等ハ常ニ停車(碇泊)場外ニ設置スルモノトス各倉庫ヲ設置スヘキ位置並其大小ニ關シ軍監督部長ヨリ特ニ指示ナキトキハ兵站監督部長之ヲ撰定ス

第四百十二 兵站主地又ハ其近傍ニ於テ貨物ノ卸下並ニ收藏ニ最モ便利ナル位置ニ野戰兵器廠ノ彈藥貯蓄所ヲ設置スヘシ而シテ其位置ヲ作戰軍司令官及兵站總監ニ速ニ通報ス

0600

ヘシ

第四百十三 若シ野戰軍兵站主地ヨリ遠ク離隔シ彈藥縱列ノ補充困難ナルニ至レハ野戰兵器廠ノ彈藥ヲ需要ニ隨ヒ漸次鐵道船舶若クハ陸路ニ由リ便利ナル場所ニ前進セシメ中間廠ヲ設クルコトアリ

第四百十四 兵站主地ニ於テ郵便事務ヲ統理スルニ關シ軍郵便部長若クハ獨立師團郵便部長ハ運輸通信官衙ト協議シ必要ノ規定ヲ設クヘシ

第三十章 陸地兵站路及兵站地

第四百十五 兵站監ハ兵站主地ヨリ作戰軍ノ所在地ニ至ル間ニ(鐵道水路ノ有無ニ關セス)陸地兵站路ヲ設置ス其員數ハ

作戰軍ノ大小及其配置ニ因リ一個或ハ數個ヲ設置スルモ
トス而シテ此線路上ニハ概テ六里毎ニ兵站地ヲ設定スルモ
ノトス但之ヲ要スレハ兩兵站地ノ中間ニ某兵站司令部ヨリ
支部ヲ分置スルコトアリ
兵站主地ノ後方地境ニ於テモ亦狀況ニ依リ前項ニ準シ陸地
兵站路ヲ設置ス
第四百十六 作戰軍駐留ノ時或ハ貧寒ノ地方ニ於テ作戰ス
ル時狀況之ヲ許セハ必要ニ應シ作戰軍ノ所在地迄又時トシ
テハ作戰軍前進ニ先テ豫メ其前方ニ迄モ陸地兵站路ヲ延長
スルコトアリ此終リノ場合ニ於テハ特ニ強大ナル一部隊ヲ以
テ兵站路ヲ掩護スルヲ要ス

第四百十七 兵站司令部ハ其任務ヲ完フスル爲ニ兵站地及其周圍ノ地ヲ利用ス若シ兵站監ヨリ其境界ヲ定メサルトキハ甲兵站地ヨリ乙兵站地ニ至ル距離ヲ折半シテ各兵站地ノ管區トス又他ノ兵站地ナキ方向ニ對シテハ各司令官適宜ニ擴張シテ之ヲ利用スルヲ得

第三十一章 兵站司令部

其一 總則

第四百十八 各兵站地及集積場ニハ兵站司令部(附表第 號)ヲ置ク但シ小ナル兵站地ニ在テハ別ニ司令部員ヲ備ヘス其地ノ守備兵司令ヲシテ之ヲ兼掌セシム

第四百十九 兵站司令部ハ其所在地ノ所管ニ依リ兵站監若

クハ留守師團長或ハ占領地總督ニ隸屬スルモノトス
右所管長官ノ管理スル地區ニ變更ヲ生スルトキハ隨テ兵站
司令部ノ隸屬ヲ變ス然レモ其部員ハ兵站司令部ノ廢止ノ令
又ハ之ニ關スル他ノ命令ヲ受クル迄ハ其職務ヲ持續スルモ
ノトス

第百五十 兵站司令官ハ兵站地ノ停車(碇泊)場司令官ト同等
ノ位置ヲ有シ其職域ハ互ニ並列シ場所ニ隨テ分界ヲ立ツ然
レモ此兩官ハ互ニ連絡ヲ保チ相補助スルヲ任トシ甲乙相要
求スルノ際ニ當リテハ互ニ其義務ヲ盡スヘシ
兩官ハ任務ヲ適當ニ實施シ勤務上相互ニ公益ヲ計リ不和ヲ
生スヘカラス蓋シ兩官ノ協同一致ヲ缺キ職域上軋轢ヲ生

0604

スルキハ其弊害作戦軍ニ波及スルモノナレハナリ然レモ若
シ兩官ノ意見相合ハサルキハ順序ヲ經テ裁決ヲ請フ可シ其
裁決ヲ得ル迄ハ先ツ兩官中高級古參者ノ意見ニ從フモノトス

其二 業務

第百五十一 兵站司令官ノ任務ハ作戦軍ニ往復スル交通ヲ
媒介シ常ニ諸準備ヲ整頓シ其管區内ノ交通路電信線ヲ警備
シ且要スルトキ輸送品ニ監視兵ヲ附スルニ在リ

兵站司令官ハ右ニ掲ケシ任務中首要ナル交通ノ媒介ニ關シ
所要ナル人馬及材料等ハ可成後方或ハ本國ヨリノ追送ニ藉
ラス地方ノ者ヲ以テ之ヲ辨スル丁ニ努力スヘシ

第百五十二 兵站地ノ守備兵ニ衛兵勤務ヲ命シ之ヲ使用シ

0605

テ敵襲ヲ防禦シ土寇ヲ鎮壓スルハ皆兵站司令官ノ任務トス
縦ヘ守備兵ニ屬スル將校此司令官ヨリ高級古參ノ者タリト
雖モ其司令官ノ指示ニ從フヘキモノトス又兵站司令官ハ必
要ニ際シテハ守備兵ヲ以テ水陸輸送ノ監視ニ使用スルコト
ヲ得

第五百五十三 兵站司令部ハ日々兵站地ヲ通過スル物品輸送
ノ請求ニ應シテ之ヲ運搬ス然レモ輸送品ノ數量多キハ其
輸送ヲシテ遲滞ナカラシメンカ爲メ發送者ハ其物品ノ數量
及時日ヲ豫報スルヲ要ス此輸送請求ノ豫報ハ之ヲ受領スル
時期愈早キハ愈其輸送ヲシテ整齊迅速ナラシムルヲ得ル
モノトス

0606

兵站司令部ハ追送及還送スヘキ軍需品ニシテ其司令部ニ貯
藏保管スヘキモノ、外ハ直ニ發送シ決シテ故ナク停滯セシ
ム可カラス

第百五十四 兵站司令官ハ縦ヒ何等ノ口實アルモ兵站勤務
ニ使用スル爲メ決シテ獨斷ヲ以テ通行ノ將校及下士兵卒ヲ
留ムルヲ得ス然レモ俄然襲來セル敵兵或ハ土寇等ニ對シ其
守備隊ヲ召致シ或ハ兵站監ノ指揮ヲ乞フノ暇ナキ等ノ場合
ニ於テハ自己ノ責任ヲ以テ其管區内ニ在ル軍隊等ヲ一時使
用スルヲ得然ルトキハ可成速ニ之ヲ兵站監ニ報告スヘシ但
軍隊等ノ長兵站司令官ヨリ高級或ハ古參ナルトキハ之ニ刻
下ノ狀況ヲ具申シテ其應援ヲ請フヘシ然ルモ之ニ應スヘキ

0607

海上輸送
ノ決定ス
ル迄未定

ヤ否ハ該隊長自己ノ責任ヲ以テ決スヘキモノトス凡テ單獨
ノ下士兵卒ニシテ兵站地ニ滞留スルアレハ絶エス之ヲ監視
シ已ムヲ得サルニ非サレハ長ク滞留セシム可ラス
第百五十五 兵站地及其管区内ニ在ル人馬ノ給養ハ兵站司
令官ノ任トス然トモ鐵道ニテ輸送スル軍隊ニ停車場ニテ爲
スヘキ給養ハ停車場司令官ノ任トス但シ食物ノ調辨及炊爨
等ノ準備ニ就テハ時機ニ應シ兵站司令官爲シ得ル限り之カ
補助ヲ爲スヘシ多數ノ人馬ヲ一時ニ輸送スル時殊ニ然リト
ス
第百五十六 碇泊場アル地ノ兵站司令官ハ運輸通信官衛若
クハ團隊指揮官ヨリ其碇泊場ニ於テ乗船スヘキ人員馬數、航

0608

海豫定日數並ニ發船時日ノ豫報ヲ得タルハ速ニ航海中ノ糧秣鹽蔬及其豫備品ヲ調辨シ團隊指揮官若クハ其先發將校ノ請求ニ應シ發船時限ヲ妨ケサル如ク之ヲ供給スルモノトス之カ爲メ要スルトキハ速ニ兵站監部若クハ留守師團司令部ニ監督部ノ員派遣ヲ稟請シ其調辨ニ與ラシムヘシ

第百五十七 兵站司令官ハ適宜ノ規則ヲ設ケ其管區内ニ生スヘヤ非違及奪掠ヲ豫防スルヲ勉ムヘシ

住民ヨリノ歎願ハ速ニ之ヲ調査シ良心ト正理トニ從ヒ勤メテ短時間ニ處分スヘシ

第百五十八 兵站司令官ハ其管區内ニ於テ陸軍々人及軍屬ノ犯罪者アルハ檢察處分ヲ爲シ陸軍治罪法ニ據リ處理ス

ヘシ

通行スル軍隊ノ下士卒ニ懲罰令ニ該當スル犯者アル時其指揮官將校ナレハ兵站司令官之ニ犯狀ヲ通報シ若シ犯者指揮官ナルトキ或ハ指揮官下士兵卒ナルトキハ兵站司令官ヨリ其犯狀ヲ犯者ノ直屬長官ニ報告スヘシ單行者ニ對シテモ亦然リ凡テ犯者ノ通報ヲ受ケタル長官ハ此通報ニ基キ處罰シタル結果ヲ此兵站司令官ニ通報スヘキ義務アリトス

第百五十九 兵站司令官内地ニ在テハ警察ノ能ク其管区内ニ行ハル、丁ニ協力スヘシ敵國ニ在テハ自ラ其事務ヲ掌ルモノトス

第百六十 兵站司令官ハ其管区内ノ軍紀ヲ保持スル爲メ分

0610

屬セラレタル憲兵ヲ使用スヘシ此憲兵ノ任トスル所ハ殊ニ
兵站路上ヲ交通スル單獨ノ下士兵卒ヲ監視スルニ在リ
第六十一 兵站司令官ハ敵國ニ在テハ管區内ノ民政上ニ
關シ所要ニ從ヒ干涉スルヲ得凡テ軍ノ利益ニ關シテハ地
方行政官吏ヲ服從セシムルヲ要ス凡ソ管區ノ利用上地方ノ
事情ヲ熟知シ且我ニ歸依スル住民ヲ撰ヒ行政ニ參與セシメ
ハ終始便益多カラントス
第六十二 兵站司令官敵國ニ在テ軍稅ヲ賦課シ若クハ罰
款トシテ金圓ヲ徵收スル等ハ所管長官ノ命令アルニ非サレ
ハ之ヲ行フヲ得ス
斯ノ如キ場合及徵發ヲ以テ給養品ヲ調達スル時ニ於テハ司

令官ハ決シテ所屬管區外ニ之ヲ行フヲ得ス徵發ヲ行フタル
トキハ司令官直ニ所管長官ニ報告シ其使用法ヲ決算上ニ證
スルヲ要ス

第六十三 副官ハ司令官ノ命ヲ奉シ司令部内ノ庶務ヲ整
理シ且司令部附下士ニ部内ノ雜務(文書ノ往復及諸記録)宿舎
給養(司令部員及通行人馬ノ宿舎并右人員ニ供スル糧食ノ使
向)輸送(輸送品ノ受授及運搬ニ關スル人馬材料ノ取扱)倉庫(倉
庫及貯藏物品ノ整理并其出納)等ノ事務ヲ分課シ其業務ヲ監
督スヘシ

又兵站司令官ハ司令部附軍吏部下士ヲシテ金錢ノ収支計算
及諸帳簿ノ記載并物品ノ購買ニ關スル事ヲ掌ラシメ且自カ

0612

ヲ其監視ヲ爲スヘシ

兵站司令部ニ軍吏ヲ屬セシトキハ倉庫事務ヲ掌ル下士并軍吏部下士ハ其業務ニ關シ該軍吏ノ指揮監督ニ屬ス

第百六十四 兵站司令部ニ給養又ハ倉庫事務ニ關シ軍吏ヲ要スルトキハ兵站司令官ハ其派出ヲ所管長官ニ稟請スヘシ此軍吏ハ司令官並ニ當該監督部長ノ指揮ニ從ヒ倉庫ヲ充實シ且之ヲ管理スルヲ擔當シ而シテ軍隊ニ必要ナル給養品ヲ調達スヘシ

第百六十五 司令部所在地或ハ其管区内ニ兵站病院ノ設置ヲ必要ナリト認メタルトキハ兵站司令官ハ軍醫及衛生材料ヲ其所管長官ニ稟請シ且其地方醫及赤十字社救護員ヲ使用

シ之ニ協力セシムルヲ勉ムヘシ

速ニ快復シテ再ヒ服役シ得ヘク認定スル多數ノ輕患者ヲ入
ル、爲メ兵站監ノ命令ニ從ヒ兵站病院ノ附屬トシテ患者療
養所ヲ設置ス

第百六十六 兵站地ニ於テハ常ニ通行スル患者等ヲ宿泊セ
シムルノ準備ヲ爲スヲ必要トス然レトモ之カ爲メ各司令部
ニ軍醫ヲ常置スルノ必要ナシ若シ患者ノ診斷ヲ要スルトキ
ハ之ヲ軍醫ノ所在地ニ送致スルヲ要ス

第百六十七 兵站管區内ニ軍人軍屬ノ死亡者アルトキハ戰
時衛生勤務令第 章ニ據リ之カ取扱ヲ爲スモノトス

第百六十八 兵站司令官ハ多クノ牛馬等ヲ使役スルカ爲メ

0614

必要ナルトキハ地方ノ獸醫蹄鐵工ヲ使用スヘシ而シテ尙不足ナルトキハ獸醫蹄鐵工長及之ニ要スル材料ヲ其所管長官ニ稟請スヘシ

其三 事務細則

第百六十九 兵站司令官ハ其地ニ就クヤ先ツ確實ニ事務ヲ處理スル爲メ首要ナル道路上(市場等)ノ家屋ニ司令部ヲ設置スヘシ

第百七十 兵站司令部ハ諸規則書(第 表参照)官印并兵站通信錄、兵站事務錄、軍用旅券、送狀綴、舍營券、諸供給券、入院入囚券及諸報告表ノ用紙ヲ最初司令部ヲ編成セシ官衙ヨリ受領スルモノトス

0615

第七十一 兵站通信錄(附表第 號)ニハ凡テ發着スル文
書ノ受領或ハ發簡ノ日時發簡者受領者文意ノ概畧之ヲ處置
シタル始末ヲ記スヘシ

第七十二 兵站事務錄(附表第 號)ニハ其兵站地ニテ檢
査セシ軍用旅券并宿舍糧食馬糧及車馬等ノ供給ヲ抄錄シ兵
站司令部ノ業務ヲ明瞭ニシ又其司令部ニテ調製交付セル軍
用旅券等ヲ列記スヘシ

第七十三 凡テ陸路鐵道或ハ船舶ニテ兵站線路ヲ往復ス
ル部隊及單獨者ハ軍用旅券(附表第 號)ヲ攜帶シ以テ宿舍
其他ノ給養ヲ受ケ凡テ兵站路通行證ト爲スモノニシテ兵站
司令部ニ於テ之ヲ調製スルモノトス

0616

第七十四 軍用旅券ハ部隊等ヲ派遣スヘキ官衙或ハ團隊ヨリ近傍ノ兵站司令部ニ請求ス之カ爲メ官衙或ハ團隊ハ派遣スヘキ人員馬數及行進中特ニ供給ヲ受クヘキ人馬車輛并其到達スヘキ目的點ヲ掲ケタル證明書ヲ其高級古參ノ者(單獨者ニハ本人)ニ與ヘ兵站司令部ニ齎ラサシムヘシ然ル時兵站司令部ハ之ニ基キ軍用旅券ヲ交附スルモノトス但シ作戰軍ニ至ル者ニシテ其到着スヘキ軍隊ノ所在地確定セサル者ノ旅券ニハ先ツ兵站主地ヲ到着點ト爲スヘシ(然ルトキハ到達スヘキ軍隊ヲ備考欄内ニ特書スルヲ要ス)而シテ主地ニ於テハ更ニ目的點迄ノ軍用旅券ヲ交付スルモノトス
軍用旅券中ニ掲載シ在ル人馬ノ員數等ニ差異ヲ生シタルト

0617

キハ兵站司令部ニ於テ其旨ヲ記入シ之ニ署名捺印スヘシ
第七十五 兵站司令官ハ通行スル部隊ノ人馬等ヲ軍用旅
券ニ掲載シ在ル者ト對照確認スル爲メ要スレハ之ヲ點檢ス
ルコトヲ得

第七十六 兵站部運輸通信官衙ノ通報及野戰郵便線一覽
表ハ皆輸送スヘキ人馬物品送達ノ爲メ必要ノ參考物トス兵
站司令部ハ此等ノ書類ニ依リ常ニ軍隊等ノ所在地ヲ熟知ス
ルヲ要ス

第七十七 一部隊或ハ輸送物品ノ兵站線路ヲ通過スル時
發起點ノ兵站司令部ハ其人馬ノ員數物品ノ量目到着地其他
所要ノ事件ヲ速ニ次ノ兵站司令部ニ豫報ス而シテ豫報ヲ受

0618

ケタル司令部ハ順次必要ノ時機ヲ計リ之ヲ遞報スルノ義務
ヲ有ス又右ノ人馬物品ヲ發送セントスル團隊等モ亦同ク之
ヲ速ニ發起點ノ兵站司令部ニ豫報スルヲ要ス但其寡少ナル
モノハ此限ニ在ラス

第七十八 總テ輸送軍需品ハ毀損紛失ナキヲ期スヘシ
之カ爲メ輸送中ニ於テハ輸送ノ指揮ニ任セラレタル者其監
視ノ責ニ任スト雖トモ兵站司令部モ亦其責任ヲ負フモノト
ス故ニ途中物件ノ毀損紛失殊ニ故意ヲ以テ輸送材料ヲ破毀
シ或ハ梱包ヲ毀損スル等ノ者ヲ豫防スルノ方法ヲ設クヘシ
第七十九 戰地ニ於テ輸送スヘキ物件ノ毀損紛失ヲ豫防
スル爲メ兵站司令部ハ送狀(附表第一號)ヲ調製シテ輸送指揮

0619

官ニ與ヘ之ヲシテ物件ト共ニ到着スヘキ司令部ニ送附セシ
ムルモノトズ故ニ輸送指揮官ハ初メ物件ヲ受領スル時此送
狀ト品目トヲ查照スヘシ物件ヲ受領スヘキ兵站司令部モ亦
送狀ニ照シテ之ヲ受領シ其品目ノ完備或ハ缺損ノ員數ヲ送
狀ノ受領書ニ記入シ之ヲ輸送指揮官ニ返附シ同官ヲシテ之
ヲ發送セル兵站司令部ニ携ヘ歸ラシムヘシ
送狀ニハ發送及受領ノ司令部各其責任ヲ明カニスル爲メ司
令部ノ官印ノ外物件ノ搭卸ヲ監視シタル將校或ハ同相當官
ノ檢印(若クハ花押)ヲ要スルモノトス
第一百八十 俘虜輸送ノ爲メ軍用旅券ヲ作ルニ當リ若シ其護
送兵兵站地毎ニ交代スル時ニ於テハ其輸送ヲシテ勉メテ長

0620

途ヲ經過セシメ日々二個乃至三個ノ陸地兵站地ヲ通過セシムル丁ニ注意スヘシ
俘虜ノ輸送ヲ爲ストキハ發起點ノ兵站官衙ハ其都度電信ヲ以テ之ヲ速ニ陸軍省及其輸送ノ到達點ヲ管スル師團司令部ニ豫報スヘシ
第百八十一 凡テ軍用旅券ニ記載シアル各兵站地ニテハ旅券中ノ欄内ニ之ヲ檢査セシ證ヲ記入スヘシ
第百八十二 軍隊或ハ兵站官衙ノ證憑ナクシテ兵站線路外ヲ徘徊シ又ハ槍掠等ヲ爲スヘキ疑アル軍人軍屬ハ直ニ兵站司令部ニ引致シ其事實ヲ審理シ場合ニ因リ本章其二第規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ

第百八十三 軍人及軍屬ハ軍用旅券或ハ軍部官憲ノ證明書ヲ所持セスレテ兵站線路ヲ通行スルヲ許サス其軍用旅券中ニ定ムル所ノ經路ヲ猥リニ自己ノ意見ヲ以テ變更スヘカラス

第百八十四 一部隊或ハ一支隊ノ指揮官及單獨ノ軍人軍屬ハ兵站地ニ到着後直ニ兵站司令部ニ届告スヘシ其人若シ司令官ヨリ高級故參ナルモ人ヲシテ届告セシムルヲ得
軍隊兵站管區ニ近邇シ或ハ兵站路ニ沿ヒ或ハ之ヲ横貫シテ行進スルトキハ亦其地方ノ兵站司令部ニ通知シ以テ其幫助ヲ受クルヲ得

第百八十五 軍隊兵站司令部ヨリノ確實ナル徵發書ナクシ

0622

テ其管區内ニ於テ徵發ヲ行ヒ得ルハ唯其隊目下欠クヘカラ
サル需要品ノミヲ補フニ限ルヘシ若シ其範圍ヲ出ツルトキ
ハ兵站司令官ハ禁令ヲ犯ス者トシテ之ヲ兵站監ニ申告スヘ
シ
第百八十六 兵站司令部ハ毎月一日十一日及二十一日調ニ
テ旬報(附表第 號)ヲ兵站監ニ出スヘシ
又司令部ハ毎月六回(一、六、十一、十六、廿一、廿六日調)糧秣、金錢報
告表(附表第 號)ヲ製シ兵站監ニ出スヘシ
又右糧秣金錢報告表ニハ其施行セル物品ノ調達ト徵發トノ
表ヲ添ユヘシ此表ニハ其品種及數量、納人、需要ノ原因、賠償、代
價、支出資金等ヲ明瞭ニ記載スルモノトス又軍稅ノ收入ト支

0623

出ニ關シテハ別ニ區分シテ決算報告スヘシ
第百八十七 兵站管區ヲ通行スル軍隊等ノ宿泊ニ供用スル
爲メ其區内ノ每家屋ニ宿シ得ヘキ人馬數ヲ調査シ宿舍一覽
表ヲ製シ表中ニハ家屋ノ景况、配宿ノ順序及其番號等ヲ明記
スヘシ又常ニ多數ノ舍營券ヲ司令部ニ貯ヘ置クヲ要ス
第百八十八 人ノ住居セサル各家屋ノ器具、戸障子等ハ總テ
取締法ヲ設ケ毀損紛失セサラシムヘシ此取締法ハ冬季嚴寒
ノ候ニ於テ殊ニ緊要ナリトス
第百八十九 守備兵タル諸隊ハ其地ノ一區部ニ屯在シ而シ
テ通行スル軍隊等ハ他ノ區部ニ宿泊セシムヘシ
住民ヲシテ通行スル軍隊ノ兵力ヲ知ラシメサルヲ要スルト

0624

キハ舍營券ヲ配與セス而テ其地ノ一區部ヲ全ク軍隊ニ交附
シ宿泊ノ用ニ供スヘシ

傳令使ノ宿舍用ニハ常ニ特別ノ家屋ヲ備ヘ以テ單獨ノ下士
兵卒及馬匹ヲ速ニ宿泊セシメ又俘虜及犯罪人ヲ容ルヘキ場
所ヲモ調辨シ置クヲ要ス

第百九十 若シ時宜ニ因リ軍隊ヲ兵站地ニ宿泊セシメ難キ
トキハ其司令官ハ當該兵站管區内ニ宿舍ヲ分配シ其配賦表
ヲ製スヘシ又必要ナル場合ニ在テハ其設營隊士官ト協議シ
テ之ヲ爲スヘシ但車輛等ハ勉メテ大ナル道路ニ沿テ宿泊セ
シムヘシ

此配賦表ハ地方吏ト其宿舍スヘキ軍隊トニ成ル可ク速ニ通

報シ以テ其隊ヲシテ迂路ヲ取ルノ煩勞ヲ免レンシメ且速ニ宿
舎ノ準備ヲ整ヘシムヘシ
第百九十一 軍人及軍屬ハ兵站司令部ノ舍營券附表第
號)及供給券(附表第 號)ナクシテ兵站地或ハ其管區内ニ於
テ宿舍給養品及車馬ヲ得ルコト能ハサルモノトス
第百九十二 舍營券ハ宿泊人ノ舍主ニ要求スヘキ事項ヲ詳
記スルモノトス又倉庫ヨリ糧秣ヲ受領スルニハ各別ニ證券
ヲ附與スヘク囚禁場或ハ病院ニ入ル、ニモ亦同様タルヘシ
(附表第 號)
此舍營券及供給券ハ舍主及倉庫等ノ爲メニ受領證ノ用ヲ爲
スモノトス

0626

第百九十三 兵站司令部ハ凡テ通行人ニ供給スヘキ給養諸物品ノ品質及分量ニ關シ常ニ能ク注意シテ良好ニ且十分ナラシメ又爲シ得ル限り宿舍給養ヲ爲サシムヘシ之カ爲メ地方吏員ヲシテ住民ヲ獎勵シ且貧困ナル住民ニハ金錢又ハ食物ヲ補助シ以テ給養ニ盡力セシムヘシ

第百九十四 行進スル軍隊ニ與フヘキ休日ハ兵站監部ヨリ豫メ準備セシ兵站地ニ於テ行フモノトス

第百九十五 兵站地ニ幅濶スル單獨ノ軍人軍屬將校及之ニ相當スル諸官ヲ除クハ成ル可ク之ヲ一團隊ニ結合シ一人ノ指揮官ヲ定メ之ニ軍用旅券ヲ與ヘ以テ行進セシムヘシ

兵站司令官ハ此ノ如キ方法ニ依リ輸送法ヲ確實ニスル爲メ

單獨ノ下士兵卒等ヲ四十八時間内ハ兵站地或ハ其管区内ニ
留止スルコトヲ得

第百九十六 各部各團隊長ヲ除クノ外軍人ノ電報ヲ發スル
ニハ兵站司令部ノ許可ヲ得其證印ヲ受ケサル可カラス

第百九十七 兵站司令部ハ輸送指揮官ノ請求ニ應シ道路ヲ
熟知セル嚮導者ヲ出シ次ノ兵站地マテ至ラシムヘシ

又兵站司令部ハ其管区内ニ於ル兵站路上ノ各岐分點ニ路標
ヲ立テ以テ通行人ノ辨識ニ供スヘシ

第百九十八 某兵站地ニ兵器格納所ヲ建ルトキハ兵站監ヨ
リ司令部ニ通知スヘシ然ルトキハ各兵站司令部若クハ團隊
ニ於テ不用ノ兵器ハ此所ニ送致スヘシ

0628

第百九十九 兵站司令部ハ官印ヲ用ユヘシ司令部ノ名ヲ以テスル書類ニハ何地兵站司令部ト記シ之ニ左ノ如ク肩書スヘシ(官印ニハ單ニ兵站司令部印ノ六字ヲ彫刻ス但文字ノ大小及字体ヲ以テ各個區別シ得ルヲ要ス)

某軍若クハ第何師團兵站監部所管第何留守師團司令部所管等

總テ公用書類ニハ其事ヲ擔任シタル將校ノ檢印ヲ爲シ若クハ花押ヲ記シ以テ其責任ヲ明カニスヘシ

第二百 兵站司令部ノ業務ヲ閉鎖スル時ハ諸規則書及官印等ハ其司令部ニ保存シ其解散スル時ハ右ノ諸品ハ別命アルニ非サレハ當該留守師團司令部ニ還納スヘシ但其業務執行中ニ集積シタル公文書類等ハ閉鎖或ハ解散スル當時ニ於ケ

0629

ル所屬官衙ニ納付スヘシ

第三十二章 兵站地内ノ設備

第二百一 兵站地内ニハ往來スル軍隊及人馬ヲ宿泊セシメ且患者ニ保護ヲ與フル爲メ宿舍、厩舎、倉庫、病院及患者宿泊所等ノ設備ヲ爲スヘシ

若シ陸地兵站路三乃至四日行程ヨリ長キトキハ勉テ大ナル兵站地ニ於テ行軍スル軍隊ニ休憩ヲ與ヘ得ル如ク設備シアルヲ要ス

第二百二 兵站司令官ハ速ニ其管区内ノ戸數人口及牛馬車輛并物資ノ多寡ヲ調査シ以テ徵收シ得ヘキ諸物件ヲ規定スヘシ又敵地ニ在テハ住民ノ所有スル兵器ヲ褫收スヘシ若シ

0630

住民我命ニ應セサルカ或ハ之ヲ隱匿スル者アラハ適當ニ之ヲ處分スヘシ此ノ如キ場合ニ於テ住民抵抗スル景況アルトキニ處スヘキ方法ヲ豫メ考定シ置クヲ要ス

第二百三 兵站司令官ハ任地到着後成ルヘク速ニ其管區内ノ略圖ヲ製シ之ニ司令部、倉庫、守備兵ノ配置等ヲ記入シ且前條ニ掲クル徵發物件ノ數量表ヲ添ヘ兵站監ニ報告スヘシ

第二百四 兵站地ノ入口ニハ諸人ヲ知リ易カラシムル爲メ司令部、病院、倉庫、郵便、電信局等ノ所在ヲ録シテ指示シ又此等ノ家屋前ニハ各其名ヲ標記シ且兵站司令部ニハ晝ハ國旗ヲ掲ケ夜ハ紅燈若クハ提灯ヲ點シテ標示スヘシ

兵站地内諸人ノ注目シ易キ場所ニ路標ヲ建テ之ニ次ノ兵站

0631

地及最近ノ市府並ニ之ニ至ルノ距離ヲ揭示スヘシ
第二百五 兵站地ノ要點ニ風紀衛兵所ヲ設ケ必要ニ應シ哨
兵ヲ配置スヘシ凡テ哨兵ハ司令部ノ宿舍ヲ熟知セサルヘカ
ス
又兵站地ノ警備及正格ニ警察規則ヲ行ハシムル爲メ巡察勤
務ヲ設ケ且迅速靜肅ニ守備兵ヲ警急集合場ニ集ムヘキ方法
ヲ練習スヘシ
第二百六 兵站司令官ハ兵站地ニ火災豫防ノ方法ヲ設ケサ
ル可カラス乃チ夜間及軍隊等出發後衛兵ヲシテ宿營地ヲ巡
羅セシメ又土民ニ命シ防火具ヲ整ヘ且夜番ヲ爲サシメ殊ニ
暴風ノ時警戒ヲ嚴ニスヘシ

0632

第二百七 若シ敵兵兵站地ヲ襲フノ虞アル時守備兵員ニ不足
ナク之ヲ爲シ得レハ小哨ヲ配布シ、入口ヲ閉塞シ、斥候ヲ出ス
ヘシ又守備兵員多カラサルハ防禦適當ノ地ニ工事ヲ施シ
拒守スヘシ此守地ハ成ル可ク堅固ナル圍壁等ヲ以テ區畫セ
ル所ニ設ケ糧食飲水及彈藥ヲ備フヘシ若シ之ニ住民ノ人質
ヲ取ルトキハ敵兵或ハ住民ノ暴動ニ對シ長ク其地ノ防禦ヲ
維持スルヲ得ヘシ

第二百八 倉庫ハ乾燥ニシテ物品ノ貯藏出納ニ便利ニ且之
ニ通スル良好ノ道路アル建築物ヲ撰フヲ要ス又兵站地ノ用
ニ充ツル外更ニ倉庫ヲ要スルトキハ兵站監部ニ於テ其場所
ヲ決定スヘシ

0633

若シ其地ニ使用スヘキ輸送用具十分ナルトキハ二個ノ兵站
地ニ前記ノ倉庫一個ヲ置クモ亦通行ノ軍隊ヲ給養スルニ足
ル一アルヘシ

第二百九 野戦軍ニ輸送スヘキ畜類ノ爲メ繋畜場又ハ成ル
可ク牧場ヲモ兵站地ニ準備シ畜類ノ飼養ニ注意スヘシ倉庫
ノ所在地ニ屠獸場ヲ設置スルハ軍隊トノ交通大ニ便利ナル
時ニ限り有益ナリトス

第二百十 兵站病院ヲ設クヘキ位置ハ司令官之ヲ軍醫ニ謀
リ決定スヘシ

第二百十一 火藥庫及彈藥車等ヲ置クニハ特ニ注意シテ適
當ノ場所ヲ撰フヘシ

0634

砲車、彈藥車並ニ縦列ノ車輛等ハ兵站地内ニ置クナク其近傍ニ於テ更ニ行進ヲ始ムル時其取ルヘキ方向ニシテ出發ノ容易ナル地ニ置クヘシ唯一二ノ行李車ハ兵站地内ニ置クナク得

第二百十二 野戰郵便物及急便等ノ遞送ノ爲メ其方法ヲ設クヘシ之カ爲メ陸路ニ在テハ驛傳ノ法ヲ設ケ人馬及車輛ノ供給ヲ準備スヘシ但如何ナル場合ニ在テモ他ノ兵站地ヨリ來リタル人馬等ヲ次ノ兵站地外マテ使用スルナハ須ラク之ヲ避クヘシ